

令和9年度

入学者選抜要項



公立大学法人
三重県立看護大学

目 次

教育理念、教育目標、アドミッション・ポリシー	1
カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	3
I 募集人員	4
II 入学者選抜試験実施日程	4
III 特別選抜	5
1 学校推薦型選抜	5
2 地域推薦型選抜	6
3 帰国生徒選抜	8
4 社会人選抜	9
5 多言語多文化選抜	10
6 東紀州地域指定校推薦型選抜	12
令和9年度三重県立看護大学特別選抜の実施教科・科目等について	13
IV 一般選抜	14
令和9年度三重県立看護大学一般選抜の実施教科・科目等について	16
V 障がい等のある入学志願者との事前相談	17
VI 出願について	17
VII 学生募集要項の発表	17
VIII 資料の入手方法等	17
IX 個人別評価の提供	19
資 料	
・令和9年度三重県立看護大学入学者選抜方法等	22

教育理念

崇高な人間性と幅広い視野を基盤に、先進的な知識と技術を教授することにより、人々がより良く生き、より良く生を終えるために、人々の生涯を通じての看護ニーズに応え得る能力を養います。これとともに看護実践に関する総合的な能力を養い、もって社会の幅広い分野において、人々の保健・医療・福祉の向上に寄与する人材育成を目指します。

さらに、看護学の進歩と独自の学問体系の確立に寄与できる将来の看護教育者及び研究者を育成します。

教育目標

1. 生命の尊厳に基づく倫理観と柔軟な思考力を備え、人間を全人的に理解し、行動できる能力を養います。
2. 看護の専門職に必要な知識・技術を教授し、人々がより良く生き、より良く生を終えるために、人々の生涯を通じての看護ニーズに対応し得る能力を養います。
3. 保健・医療・福祉等の分野において、他職種の人々と連携し、看護をより有効的に機能させ、地域社会の保健医療ニーズに適切に対応できる能力を養います。
4. 地域の生活文化・歴史等を理解し、地域特性に応じた看護実践を展開できる能力を養います。
5. 自己啓発能力と研究的態度を身に付け、看護学を体系化し発展させる能力を養います。
6. 国際・異文化理解とコミュニケーションの能力を身に付け、国際的視野をもって活動できる能力を養います。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

【求める学生像】

本学では、地域に根差した看護専門職者を養成する大学として、高等学校での教育段階までに次のような資質を身につけた学生を求める。

1. 看護専門職者として活躍するために、社会に貢献したいという強い意思を持ち、日頃から人々の営みや社会の動き、さらにはそれらの背景に関心を寄せ、理解を深めようと努めていること。
2. 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけるために、基礎的な学力を偏ることなく幅広く身につけていること。特に生命科学の基礎となる生物、化学については、基礎的な知識にとどまらず身につけておくことが望ましい。
3. 身につけた知識を基盤に、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけるために、日々の生活や学習の中で、自らの考えをまとめられ、的確に判断して行動できるとともに、自らの言葉で具体的に説明できること。
4. 看護専門職者としての役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけるため、日々の生活の中で積極的に周囲の人との交流を持ち、多様な人々とともに協働して学ぶことができる。
5. 現代社会の多様性を尊重し、看護専門職者となるにふさわしい倫理観と社会的マナーを身につけているとともに、日々の生活の中で自律心を持って主体的に行動でき、自己研鑽に努める習慣があること。
6. 本学の卒業生に対しては、三重県内の保健・医療・福祉分野において指導的な立場での活躍が期待されている。そのため、本学が行っている高大接続事業に参加し、地域の医療に貢献する意思を強く持ち、高校生活を通して学級活動や課外活動などでリーダーシップを身につけ、活躍していることが望ましい。

【入学者選抜の基本方針】

求める学生を受け入れるため、選抜区分ごとに多面的な評価を行う。

1. 特別選抜

〈選抜方法〉

本学が実施する面接、および区分に応じた筆記試験（「基礎学力検査」または「小論文」）の結果、調査書、推薦書等の内容を総合して評価する。

〈選抜の趣旨〉

本学卒業後、三重県内の看護実践および教育・研究の場で活躍するために必要な強い情熱と意欲、資質を評価する。「基礎学力検査」を課す区分では、国語・数学・外国語・理科の試験を通じ、看護学の修得に必要な基礎的な知識を評価する。「小論文」を課す区分では、外国語の読解を含む課題を通じ、英語読解能力、論理的思考力および表現力を評価する。「面接」では、自らの考えを的確に伝える表現力、主体性、および自己研鑽し続ける意欲と適性を評価し、本学での学修に継続して取り組めるかを確認する。加えて、三重県内の保健・医療・福祉に貢献する強い意志を確認する。調査書等は面接における参考資料として活用し、高校生活における主体性や協働性を評価する。

2. 一般選抜（前期日程）

〈選抜方法〉

大学入学共通テスト（6教科6科目または6教科7科目）、本学が実施する個別学力検査（外国語を必須とし、国語又は数学から1教科選択）の得点、および面接試験の評価に調査書等の内容を総合して評価する。

〈選抜の趣旨〉

看護学の修得に必要な基礎的な知識と論理的思考力、および看護専門職者としての適性を重視して評価する。基礎学力を重視するため、大学入学共通テストの配点比率を高く設定するとともに、教科・科目の知識を幅広く評価する。個別学力検査では、外国語の読解力に加え、国語による記述・表現力または数学的な論理的思考力を評価する。「面接」では、自らの考えを的確に伝える表現力、主体性、および自己研鑽し続ける意欲と適性を評価し、本学での学修に継続して取り組めるかを確認する。

3. 一般選抜（後期日程）

〈選抜方法〉

大学入学共通テスト（6教科6科目または6教科7科目）の得点、および面接試験の評価に調査書等の内容を総合して評価する。

〈選抜の趣旨〉

看護学の修得に必要な基礎的な知識、および看護専門職者としての適性を重視して評価する。基礎学力を重視するため、大学入学共通テストの結果に基づき、教科・科目の知識を重点的に評価する。「面接」では、自らの考えを的確に伝える表現力、主体性、および自己研鑽し続ける意欲と適性を評価し、本学での学修に継続して取り組めるかを確認する。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

教育課程は、学位授与方針に示した能力を修得できるように、高い倫理観や豊かな人間性を育む「教養・基礎科目群」、保健・医療・福祉に関する幅広い知識を得る「専門支持科目群」、様々な看護へのニーズに応え得る専門性を育成する「専門科目群」、看護専門職者としての資質を高める「総合科目群」で構成し、以下の内容の科目により編成する。

また、教育課程の実施にあたっては、学生の主体的な学習を促す教育方法を導入し、そのための環境づくりを行う。さらに、学修成果については、学位授与方針に基づいた各授業科目の到達目標や達成度を明確に提示したうえで成績評価を行い、学生自身においてもその時々々の学修の達成状況を確認できる仕組みを積極的に取り入れる。

- A 人々の生命・尊厳・権利を尊重する姿勢を身につけるために、倫理学、看護倫理学等の科目を配置する。また、倫理観に基づく行動について異学年交流を通して学ぶ総合課題探求ⅠⅡを配置する。
- B 人々の生活に根ざした看護を実践するために、現代社会の社会学、形態機能学Ⅰ～Ⅳ、看護学原論ⅠⅡ、臨床薬理学等、幅広い教養と専門的知識を身につける科目を配置する。
- C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するコミュニケーション能力を身につけるために、コミュニケーション論、英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、三重を知ろうⅠ、多文化社会の課題、国際看護学等の科目を配置する。
- D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加するために、キャリアデザイン、市民活動論、看護管理学等の科目を配置する。
- E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決する方策を考えるために、情報リテラシー入門、基礎情報学、看護実践の思考、三重を知ろうⅡ等の科目を配置する。
- F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供するために、感染症や災害時の対応を含むセーフティマネジメントや、地域包括ケアシステムにおける看護を実践するための臨地実習等の科目を配置する。また、全員が保健師国家試験受験資格を得られる科目を配置する。
- G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、日本語トレーニングⅠⅡ、看護研究入門、卒業研究ⅠⅡ等の科目を配置する。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

看護専門職者として人々の生涯を通じての看護のニーズに応え得るために、以下にあげる能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に、学士(看護学)の学位を授与する。

- A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度)
- B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)
- C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)
- D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。(技能・表現)
- E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)
- F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)
- G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。(関心・意欲)

I 募集人員

学部	学科	入学定員
看護学部	看護学科	100 名

募 集 人 員							
特 別 選 抜						一 般 選 抜	
学校推薦型 選抜	地域推薦型 選抜	帰国生徒 選抜	社会人 選抜	多言語 多文化 選抜	東紀州地域 指定校 推薦型選抜	前期日程	後期日程
40 名 (地域推薦型 選抜の 6 名、 東紀州地域指 定校推薦型選 抜の 2 名を含 む。)	6 名	若干名	若干名	若干名	2 名	一般枠 45 名 地域枠 5 名	10 名 (帰国生徒 選抜、社会 人選抜、多 言語多文化 選抜の若干 名を含む。)

II 入学者選抜試験実施日程

区分		出願期間 (※)	試験日	合格発表日
特 別 選 抜	学校推薦型選抜	令和 8 年 11 月 2 日 (月) ～令和 8 年 11 月 9 日 (月)	令和 8 年 11 月 21 日 (土)	令和 8 年 12 月 4 日 (金)
	地域推薦型選抜			
	帰国生徒選抜			
	社会人選抜			
	多言語多文化選抜			
	東紀州地域 指定校推薦型選抜			
一 般 選 抜	前期日程	令和 9 年 1 月 25 日 (月) ～令和 9 年 2 月 3 日 (水)	令和 9 年 2 月 25 日 (木)	令和 9 年 3 月 5 日 (金)
	後期日程		令和 9 年 3 月 12 日 (金)	令和 9 年 3 月 20 日 (土)

(※) 出願書類の提出期間となります。インターネット出願の登録期間は「学生募集要項」に掲載します。(特別選抜は 9 月下旬、一般選抜は 10 月下旬にホームページに公表予定)

Ⅲ 特別選抜

1 学校推薦型選抜

募 集 人 員	40 名（地域推薦型選抜の 6 名、東紀州地域指定校推薦型選抜の 2 名を含む。）
出 願 資 格 ・ 要 件	次のいずれにも該当し、高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者としします。 (1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、三重県内の看護実践及び教育・研究に携わっていく強い情熱と意欲を有する者 (2) 次の①、②のいずれかに該当し、かつ、令和 9 年 3 月に高等学校を卒業見込みの者 ① 三重県内の高等学校に在学する者 ② 令和 8 年 4 月 1 日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者 (3) 調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.8 以上である者 (4) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、本学が実施する基礎学力検査及び面接の結果を総合して行います。大学入学共通テストは課しません。（詳細は 13 ページを参照してください。）
出 願 方 法	インターネット出願のみ
出 願 期 間 （出願書類提出期間）	令和 8 年 11 月 2 日（月）～令和 8 年 11 月 9 日（月）【17 時必着】 ・インターネット出願システム登録期間は、学生募集要項に掲載します。（9 月下旬公表予定）
試 験 日	令和 8 年 11 月 21 日（土）
合 格 発 表 日	令和 8 年 12 月 4 日（金）
備 考	・県立大学である本学では、三重県内で活躍する看護師、保健師、助産師など医療従事者の養成を一つの使命としています。 そのため、卒業後、三重県内の医療機関で働こうと考えている受験生からの出願を強く望んでいます。 ・学校推薦型選抜と地域推薦型選抜の併願はできません。

2 地域推薦型選抜

募 集 人 員	6 名
出 願 資 格 ・ 要 件	次のいずれにも該当し、三重県内の市町長及び高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者とします。 (1) 推薦市町または市町が指定する医療機関等に4年以上就業する強い意思を有する者 (2) 推薦市町と卒業後に貢献する地域の保健・医療・福祉について十分な話し合いを行っている者 (3) 令和9年3月に高等学校（三重県内の高等学校に限らない。）を卒業見込みの者 (4) 調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者 (5) 高等学校において、「化学基礎」と「生物基礎」の両方を履修していることに加え、「化学」又は「生物」を履修している者 (6) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、本学が実施する小論文（外国語の読解を含む）及び面接の結果を総合して行います。大学入学共通テストは課しません。（詳細は13ページを参照してください。）
出 願 方 法	インターネット出願のみ
出 願 期 間 （出願書類提出期間）	令和8年11月2日（月）～令和8年11月9日（月）【17時必着】 ・インターネット出願システム登録期間は、学生募集要項に掲載します。 （9月下旬公表予定）
試 験 日	令和8年11月21日（土）
合 格 発 表 日	令和8年12月4日（金）

備 考	・令和9年度入学者選抜において推薦を行う市町は次のとおりであり、推薦する人数は各市町において決定します。		
	記		
	市 町 名	職 種	担 当 課・室
	伊 勢 市	看護師	市立伊勢総合病院 経営企画課
	桑 名 市	看護師	桑名市役所 保健医療課
	尾 鷲 市	看護師	尾鷲総合病院 病院総務課
	亀 山 市	看護師	健康福祉部 健康推進課 地域包括連携グループ
	熊 野 市	看護師	熊野市役所 健康・長寿課
	御 浜 町		御浜町役場 健康福祉課
	紀 宝 町		紀宝町役場 みらい健康課
	志 摩 市	看護師	国民健康保険志摩市民病院 管理係
	伊 賀 市	看護師	伊賀市立上野総合市民病院 病院総務課
	(注1) 上記以外の市町は推薦を行いません。		
	(注2) 熊野市、御浜町及び紀宝町は、合同で当制度を利用。		
	・多言語多文化選抜、東紀州地域指定校推薦型選抜と同程度の合否判定基準を設定しています。		
	・学校推薦型選抜と地域推薦型選抜の併願はできません。		
	・推薦市町または市町が指定する医療機関等が推薦に関する条件を設定している場合には、推薦を受ける者は当該条件に従う必要があります。		

3 帰国生徒選抜

募 集 人 員	若干名
出 願 資 格 ・ 要 件	日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者とともに外国に在留し、次のいずれかに該当する者としてします。 (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）のうち、外国において最終学年を含め 2 年以上継続して教育を受け、令和 7 年（2025 年）4 月 1 日から令和 9 年（2027 年）3 月 31 日までの間に卒業（修了）した者若しくは卒業（修了）する見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学して教育を受けた期間は、上記の「2 年以上」の期間に算入されません。 (2) 外国において、次のいずれかの資格を令和 7（2025）年から令和 9（2027）年までの間に取得した者 ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 ④ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（3 科目以上合格していること。） ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているインターナショナル A レベル資格（3 科目以上合格していること。） ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格
選 抜 方 法	調査書の審査、本学が実施する基礎学力検査及び面接の結果を総合して行います。大学入学共通テストは課しません。（詳細は 13 ページを参照してください。）
出 願 方 法	インターネット出願のみ
出 願 期 間 （出願書類提出期間）	令和 8 年 11 月 2 日（月）～令和 8 年 11 月 9 日（月）【17 時必着】 ・インターネット出願システム登録期間は、学生募集要項に掲載します。 （9 月下旬公表予定）
試 験 日	令和 8 年 11 月 21 日（土）
合 格 発 表 日	令和 8 年 12 月 4 日（金）
備 考	・学校推薦型選抜と同程度の可否判定基準を設定しています。

4 社会人選抜

募 集 人 員	若干名
出 願 資 格 ・ 要 件	次のいずれにも該当する者とします。 (1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者 (2) 大学入学資格を有する者 次のいずれかに該当する者とします。 ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者 ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） ⑧ 前各号に定めるもののほか、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者 注：出願資格⑧により出願する者は、令和 8 年 8 月 21 日（金）17 時まで三重県立看護大学教務学生課へ問い合わせてください。 (3) 令和 9 年 3 月 31 日までに 23 歳以上に達し、大学入学資格取得後、社会人の経験を 3 年以上有する者 注 1：就業しながら定時制若しくは通信制の学校に在籍していた期間は社会人経験期間に含みます。 注 2：家事・家業従事・パートの期間も社会人経験期間に含みます。
選 抜 方 法	調査書の審査、本学が実施する基礎学力検査及び面接の結果を総合して行います。大学入学共通テストは課しません。（詳細は 13 ページを参照してください。）
出 願 方 法	インターネット出願のみ
出 願 期 間 （出願書類提出期間）	令和 8 年 11 月 2 日（月）～令和 8 年 11 月 9 日（月）【17 時必着】 ・インターネット出願システム登録期間は、学生募集要項に掲載します。 （9 月下旬公表予定）
試 験 日	令和 8 年 11 月 21 日（土）
合 格 発 表 日	令和 8 年 12 月 4 日（金）
備 考	・学校推薦型選抜と同程度の合否判定基準を設定しています。

5 多言語多文化選抜

募 集 人 員	若干名
出 願 資 格 ・ 要 件	次のいずれにも該当し、三重県内の市町長又は三重県内の医療機関長及び高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者としします。 (1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、日本語以外の母語（※）を活かして三重県内の保健・医療・福祉等に貢献する強い情熱と意欲を有する者（※）母語とは、幼児期に最初に習得した言語のことをいう。 (2) 推薦市町又は推薦医療機関に4年以上就業する強い意志を有し、推薦市町又は推薦医療機関と卒業後に貢献する保健・医療・福祉等について十分な話し合いを行っている者 (3) 次のいずれかに該当し、かつ令和9年3月に高等学校を卒業見込みの者 ①三重県内の高等学校に在学する者 ②令和8年4月1日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者 (4) 調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者 (5) 高等学校において、「化学基礎」と「生物基礎」の両方を履修している者 (6) 日本語以外を母語とし、出願時においても母語で日常会話ができることを高等学校長が確認した者 (7) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、本学が実施する小論文（外国語の読解を含む）及び面接の結果を総合して行います。大学入学共通テストは課しません。（詳細は13ページを参照してください。）
出 願 方 法	インターネット出願のみ
出 願 期 間 (出願書類提出期間)	令和8年11月2日（月）～令和8年11月9日（月）【17時必着】 ・インターネット出願システム登録期間は、学生募集要項に掲載します。 (9月下旬公表予定)
試 験 日	令和8年11月21日（土）
合 格 発 表 日	令和8年12月4日（金）
備 考	・地域推薦型選抜、東紀州地域指定校推薦型選抜と同程度の可否判定基準を設定しています。 ・令和9年度入学者選抜において推薦を行う医療機関、市町は次のとおりであり、推薦する人数は各医療機関、市町において決定します。

備考	記			
	医療機関名 市町名	職 種 言語・文化背景	担当課・室	電話番号
	社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院	・看護師、助産師 ・英語、タガログ語 ・フィリピンの文化	総務課	0598-51-2626
	独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター	・看護師 ・国や地域の指定、制限なし	看護部	059-259-1211
	紀南病院組合立 紀南病院	・看護師 ・国や地域の指定、制限なし	総務課	05979-2-1333
	公益社団法人 地域医療振興協会 三重県立志摩病院	・看護師 ・国や地域の指定、制限なし	事務部 総務課	0599-43-0501
	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	・看護師、助産師 ・英語、スペイン語、 ポルトガル語	監理課	0594-22-1211
	社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院	・看護師 ・英語、ポルトガル語 ・南米の文化、東南アジアの文化	看護部	059-375-1212
	一般財団法人信貴山病院分院 上野病院	・看護師 ・ブラジル又は中国の文化を 背景として持つ者	人事第二課	0595-21-6502
	伊賀市立上野総合市民病院	・看護師 ・ポルトガル語に習熟している者 ・スペイン語に習熟している者 ・ベトナム語に習熟している者	病院総務課	0595-24-1111
	国民健康保険志摩市民病院	・看護師 ・英語	管理係	0599-73-8877
	亀山市	・看護師 ・ポルトガル語、ベトナム語	健康福祉部 健康推進課 地域包括連携 グループ	0595-84-3312
	熊野市	・保健師 ・英語もしくはアジア圏の言 語に習熟している者	健康・長寿課	0597-89-3113
(注1) 上記以外の医療機関、市町は推薦を行いません。 (注2) 言語・文化背景について必要とされる能力の程度は、各推薦医療機関・市町へお問い合わせください。なお、記載しているすべての国の言語・文化背景に該当する必要はありません。 ・推薦市町または推薦医療機関が推薦に関する条件を設定している場合には、推薦を受ける者は当該条件に従う必要があります。				

6 東紀州地域指定校推薦型選抜

募 集 人 員	2 名
出 願 資 格 ・ 要 件	次のいずれにも該当し、高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者とします。 (1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、三重県内の看護実践及び教育・研究に携わっていく強い情熱と意欲を有する者 (2) 本学が指定する三重県東紀州地域内の高等学校を令和 9 年 3 月に卒業見込みの者 (3) 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上である者 (4) 高等学校において、「化学基礎」と「生物基礎」の両方を履修していることに加え、「化学」又は「生物」を履修している者 (5) 看護職者としての自身の適性について考察を経た者 (6) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、本学が実施する小論文（外国語の読解を含む）及び面接の結果を総合して行います。（詳細は 13 ページを参照してください。）
出 願 方 法	インターネット出願のみ
出 願 期 間 (出願書類提出期間)	令和 8 年 11 月 2 日（月）～令和 8 年 11 月 9 日（月）【17 時必着】 ・インターネット出願システム登録期間は、学生募集要項に掲載します。（9 月下旬公表予定）
試 験 日	令和 8 年 11 月 21 日（土）
合 格 発 表 日	令和 8 年 12 月 4 日（金）
備 考	・推薦できる人数は、1 高等学校につき 1 名とします。 ・県立大学である本学では、三重県内で活躍する看護師、保健師、助産師など医療従事者の養成を一つの使命としています。 そのため、卒業後、三重県内の医療機関で働こうと考えている受験生からの出願を強く望んでいます。 ・地域推薦型選抜、多言語多文化選抜と同程度の可否判定基準を設定しています。

令和 9 年度三重県立看護大学特別選抜の実施教科・科目等について

区分	基礎学力検査・個別学力検査等			配点等						
	教科		科目名等	国語	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	基礎学力 検査	国語	現代の国語、言語文化 (古文・漢文を除く。)	100	100	100	100		※	400
		数学 理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ 化学基礎と生物基礎、 化学、生物から 1 (注 1) 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ							
	その他		面接							
地域推薦型選抜 多言語多文化選抜 東紀州地域指定校 推薦型選抜	基礎学力 検査	その他	小論文(外国語の読解 を含む)					100	※	100
		その他	面接							

- ・調査書及び推薦書については、「面接」における参考資料とします。
- ・(※)「面接」は、表現力、主体性等を評価します。ＡＢＣの３段階評価を行い、その評価がＣの場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とします。
- ・(注 1) 選択教科による不公平が生じないようにするため、得点調整を行う場合があります。
- ・学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜の「基礎学力検査」は、本学で学ぶために必要な基礎学力を問うものです。
- ・「化学」は、「化学基礎」及び「化学」の全範囲を出題範囲とします。
- ・「生物」は、「生物基礎」及び「生物」の全範囲を出題範囲とします。
- ・地域推薦型選抜、多言語多文化選抜、東紀州地域指定校推薦型選抜の「小論文」は、本学で学ぶために必要な英語読解能力及び表現力を問うものです。

Ⅳ 一般選抜

実 施 方 法	個別学力検査等を分離分割方式（前期日程及び後期日程）により実施します。
募 集 人 員	前期日程 一般枠 45 名 地域枠 5 名 後期日程 10 名（帰国生徒選抜、社会人選抜、多言語多文化選抜の若干名を含む。）
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当し、かつ令和 9 年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験した者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び令和 9 年 3 月までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月までに修了見込みの者 (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 (6) 文部科学大臣の指定した者 (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 9 年 3 月までに合格見込みの者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） (8) 前各号に定めるもののほか、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者 注：出願資格(8)に該当する者は、令和 8 年 8 月 21 日（金）17 時までに三重県立看護大学教務学生課へ問い合わせてください。
選 抜 方 法	前期日程：調査書の審査、大学入学共通テスト、本学が実施する個別学力検査及び面接の結果を総合して行います。 後期日程：調査書の審査、大学入学共通テスト、本学が実施する面接の結果を総合して行います。 （詳細は 16 ページを参照してください。）
出 願 方 法	インターネット出願のみ

出 願 期 間 (出願書類提出期間)	(前期日程・後期日程とも) 令和 9 年 1 月 25 日 (月) ～令和 9 年 2 月 3 日 (水) 【17 時必着】 ・インターネット出願システム登録期間は、学生募集要項に掲載します。 (10 月下旬公表予定)
試 験 日	前期日程：令和 9 年 2 月 25 日 (木) 後期日程：令和 9 年 3 月 12 日 (金)
合 格 発 表 日	前期日程：令和 9 年 3 月 5 日 (金) 後期日程：令和 9 年 3 月 20 日 (土)
備 考	・地域枠とは、三重県の保健医療を担う人材の確保を目的に設定するものです。 ・地域枠に出願できるのは、次の①、②のいずれかに該当し、かつ、令和 9 年 3 月に高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業見込みの者です。 ① 三重県内の高等学校に在学する者 ② 令和 8 年 4 月 1 日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者 ・前期日程一般枠と地域枠は併願ができます。その場合は、一般枠での合格が優先されます。ただし、地域枠のみの出願はできません。

令和 9 年度三重県立看護大学一般選抜の実施教科・科目等について

区分	大学入学共通テスト の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	教科	科目名等	教科	出題範囲・科目名等	試験 区分	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点 合計	
前期 日程	国語	国語(必須)	外国語(必須)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ	共通 テスト	100	* 100		100	100	100	50		550	
	地理 歴史	「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合、地理探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」から2			国語 数学 1教科 選 択	現代の国語、言語文化 (古文・漢文を除く。)	個別 学力 検査 (注1) (注2)	* 110			* 110	110		※	220
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、 「地理総合／歴史総合／公共」から2(再掲)													
	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」から1													
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 から2、又は「物理」、「化学」、「生物」から1														
後期 日程	外国語	英語(必須)	その他	面接	計	100 * 210	* 100		100 * 210	100	210	50	※	770	
	情報	情報Ⅰ(必須)													
	[6教科6科目]又は[6教科7科目]														
後期 日程	国語	国語(必須)	その他	面接	共通 テスト	(注3)	* (注3)		(注4)	(注4)	100	50		750	
	地理 歴史	「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合、地理探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」から2			個別 学力 検査							※			
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、 「地理総合／歴史総合／公共」から2(再掲)													
	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」から1													
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 から2、又は「物理」、「化学」、「生物」から1														
後期 日程	外国語	英語(必須)	計	(注3)	* (注3)		(注4)	(注4)	100	50	※	750			
	情報	情報Ⅰ(必須)													
		[6教科6科目]又は[6教科7科目]													

＜大学入学共通テストの利用教科・科目名＞欄

- ・外国語については、共通テストにおいて実施される『英語』200点(「リーディング」100点と「リスニング」100点)における得点を、100点満点とした得点へと換算します。受験上の配慮事項によりリスニングを免除された者については、リーディングの成績(100点満点)を2倍して200点満点とし、その得点を100点満点とした得点へと換算します。
- ・情報については、共通テストにおいて実施される『情報Ⅰ』100点における得点を50点満点とした得点へと換算します。
- ・指定した教科数・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の成績を利用します。
- ・令和9年度入学選抜では、令和9年度大学入学共通テストの成績を利用します。
- ・令和9年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験しなかった場合は失格となり、個別学力検査等を受験できません。

＜大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等＞欄

- ・配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
- ・「面接」は、表現力、主体性等を評価します。ABCの3段階評価を行い、その評価がCの場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とします。
- ・(注1) 選択教科による不公平が生じないようにするため、得点調整を行う場合があります。
- ・(注2) 前期日程地域枠においては、大学入学共通テストに加え、個別学力検査3教科(外国語、国語、数学)のうち高得点の1教科の成績を利用します。

- ・(注3) 後期日程において、大学入学共通テストの国語、地理歴史、公民については、100点換算後、最高得点科目の教科を200点配点とし、残りの教科を100点配点とします。
- ・(注4) 後期日程において、大学入学共通テストの数学、理科の2教科については、最高得点科目の教科を200点配点とし、残りの教科を100点配点とします。

V 障がい等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいがあり、受験及び修学において配慮を必要とする者は、出願の前にあらかじめ教務学生課まで連絡し、相談してください。

VI 出願について

特別選抜及び一般選抜の全ての選抜区分においてインターネット出願のみとします。

大学ホームページに掲載される学生募集要項をダウンロードし、出願手続の確認をしてください。
出願に関する個別の問い合わせには、原則お答えできません。学生募集要項をよくご確認いただき、出願登録をお願いします。

インターネット出願については、本学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) をご覧ください。

VII 学生募集要項の発表

本学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) で発表します。出願の際には必ずご確認ください。

- ・特別選抜（学校推薦型選抜、地域推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜、多言語多文化選抜、東紀州地域指定校推薦型選抜）
令和8年9月下旬（予定）
- ・一般選抜（前期日程、後期日程）
令和8年10月下旬（予定）

VIII 資料の入手方法等

[1] 学生募集要項

学生募集要項は、冊子での発行はしませんので、全て本学ホームページからダウンロードしてください。

三重県立看護大学ホームページ <https://www.mcn.ac.jp>

※インターネット環境にない場合は、教務学生課（電話：059-233-5602）までお問い合わせください。

[2] 大学案内・入学者選抜要項

大学案内・入学者選抜要項は、本学ホームページからダウンロード又は下記の手続きにより、冊子で入手していただくことが可能です。

(1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページからテレメールを利用して大学案内及び入学者選抜要項の資料が請求できます。詳しくは、三重県立看護大学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) をご覧ください。

(2) テレメールで請求する場合

①テレメールのサイトにアクセスしてください。

インターネット	https://telemail.jp	資料請求はこちら (資料請求番号の入力不要)	
---------	---	---------------------------	---

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金（予定）	発送開始日
大学案内	5 6 4 3 2 2	180 円	配布中
入学者選抜要項	5 8 4 3 2 2	180 円	6 月上旬発送予定
入学者選抜要項・大学案内	5 6 4 3 0 2	215 円	6 月上旬発送予定

- 16 時までの受付は当日発送、16 時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- 通常は発送日のおおむね 3～5 日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに 1 週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 資料は個別に発送されます。複数の資料を同時に請求された場合、お届け日が異なることがあります。
- 発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。

③ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

- 資料請求受付終了時および受付確認メール内に表示される 10 桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- 随時発送の資料が 1 週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を 1 週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変わっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達通常ありませんのでお急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- 資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後 2 週間以内に表示料金をお支払いください。なお、料金は資料の重量により変更になる場合があります。
- 料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（PayPay 請求書払い、au PAY 請求書支払い）」がご利用になれます。PayPay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料 30 円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料 118 円が、支払い時に別途必要です。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先
テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102（受付時間 9 時 30 分～18 時）まで
※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

(3) 大学に直接請求する場合

平日 9 時から 17 時までの間に、事務局（教務学生課）までお越しください。

Ⅷ 個人別評価の提供

受験者本人の請求により、入学者選抜試験の個人別評価を提供します。

1 提供する個人別評価の内容

[1] 特別選抜

- ・学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜…

基礎学力検査の得点、面接の評価

- ・地域推薦型選抜、多言語多文化選抜、東紀州地域指定校推薦型選抜…

基礎学力検査（小論文）の得点、面接の評価

[2] 一般選抜

大学入学共通テスト成績の教科別得点及び合計得点、

個別学力検査の得点（前期日程のみ）、面接の評価

2 請求方法、提供期間については、募集要項に記載します。

資 料

令和9年度三重県立看護大学入学者選抜方法等（特別選抜）

選 抜 方法等	学校推薦型選抜								帰国生徒・社会人・多様な背景等 のための特別選抜				その 他の選 抜
	個別 大学入 学共通 テスト を免除 し、 課する	個別 テスト を免除 する 大学入 学共通	実技検査等					募 集 人 員	帰 国 生 徒	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人	多 様 な 背 景 を 持 つ た 者 を 対 象 と す る	
			実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	そ の 他						
学部・ 学科名													
看護学部 看護学科	×	×	×	○	△	×	×	40名	○	×	○	○	×

（○＝該当する ×＝該当しない △＝一部の選抜区分に該当する）

（注）学校推薦型選抜・帰国生徒選抜・社会人選抜においては、基礎学力検査を課し、大学入学共通テストを免除する。

地域推薦型選抜、多言語多文化選抜、東紀州地域指定校推薦型選抜においては、小論文（外国語の読解を含む）を課し、大学入学共通テストを免除する。

令和9年度三重県立看護大学入学者選抜方法等
（一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜、総合型選抜）

選 抜 方法等		個別学力検査等								専門高校・総合学科卒業生選抜						総合型選抜	個別学力検査等の日程	備考 （欠員の補充の方法等）
		個別 学力 検査を課する	実技検査等			2段階選抜				個別 学力 検査を課する	実技検査等				募集人員			
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数										
								定員に対する倍率	その他		実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する				
学部・学科名	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	令和9年 2月25日	追加合格	
	後期日程	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	令和9年 3月12日	追加合格	

（○＝該当する ×＝該当しない）

問い合わせ先

公立大学法人 三重県立看護大学
事務局教務学生課

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1
電話：059-233-5602
ホームページ：<https://www.mcn.ac.jp>



本書は再生紙を使用しております。



P-00061
この印刷物は、CSR
に取り組む印刷会社が
製作した印刷物です。



GREEN PRINTING JFPI
P-B10216
この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。